

社会的承認・社会的責任の 個人内基準による愛他行動の評価

Altruistic evaluation by personal standards
of social-recognition and social-responsibility

高尾 正

問 題

向社会的行動研究に使用される用語の定義は次第に整理されつつある。松崎・浜崎（1990）によれば、この約20年の間に使用された単語で最も多いのは Help__であり、Altrui__とあわせ、全体の75パーセント近くがこの2つで占められている。松崎・浜崎は、Prosocial の用語の使用頻度が最近増加しつつあることを指摘すると共に、Prosocial と Altruism との関係について、Eisenberg, N. の著作を引用し、彼女が行動の意図と動機からこれらを区別しようとし、他者の利益となるポジティブな行動を Altruism（愛他）と考えていることを明らかにしている。このような定義については、中村陽吉（1987）も、愛他行動を純粋に他者の事だけを思った他者を助ける行動であるとして、ほぼ同様の意見が述べられている。

このように愛他、または愛他行動の定義についてはほぼ一貫した結果が示されているけれども、しかし、愛他行動がもたらした結果には、しばしば自己満足が認められるように、自分では、他人の利益を考えた行動であると考えても、客観的にみて、また、被援助者からみてその行動が必ずしも利益とならない場合も存在するであろう。そこで、愛他行動とはどのようなものであるのかを、さらに詳しく検討する手がかりとして本研究を計画した。

愛他行動の受け取りかたを検討するため、これらの行動が、どの程度他者の利益を考えた行動であるか、判断を求められる10の事例を作成し、被援助者にとっての望ましさを評価させた。また、愛他行動は被援助者の条件によって異なると考えられる。そのため本事例では、被援助者を友達に限定した。愛他行動の動機の個人的要因に関しては、多くの向社会的行動の意志決定モデルのなかで、いくつかの要因が整理されている。それらは主として、向社会的道徳判断や役割取得などの能力についての自己認知、共感や自尊感情などである。

しかし、本研究ではそのような能力についての自己認知、情緒の変数ではなく、愛他行動それ自体の個人内基準を、もうひとつの変数として用いる。

社会的承認の基準：それが被援助者にとってきびしいものであるならば、それを避けることが、友達に対する愛他行動である。

社会的責任の基準：それが被援助者にとってきびしいものであっても、それが友達にとって最良であると考えれば、そのようにすることが友達に対する愛他行動である。

この2つの個人内基準のいづれに多く基づくかによって、愛他行動の価値判断が異なるものとする。そのため社会的承認——社会的責任の個人内レベルを測定するための質問紙を作成し実施した。今回は、この個人内基準の相違による、愛他行動の価値判断の差異を検討することによって、愛他行動の意味を考える手がかりとしたい。

方 法

社会的承認、社会的責任の態度測定：行動の基準が、友達との良好な関係の維持に重点が置かれるか、社会の規則やたてまえの遵守に重点が置かれるかの、社会的承認——社会的責任のレベルを測定する次の10項目の質問紙を作成した。

1. 何かのことで友達と意見が食い違いました。私の方が正しいと思いますが、大したことでなければ、友達に合わせますか、あくまで自分の意見を主張する方ですか。
2. 友達が赤信号をわたり始めました。注意してやめさせますか、離ればなれになると困るので、仕方なく一緒に渡る方ですか。
3. 仲間との会議が長引いてみんなうんざりしています。でも、言わねばならないことがまだ残っています。あくまで意見を言いますか、また次の機会にする方ですか。
4. 友達が私の答案を覗いています。見せないようにしますか。仕方なく、そのままにしておく方ですか。
5. 友達が、先生と意見の衝突をしました。もうその先生の講義を受けないと言います。そして、私にも一緒にやめようと言います。やめたくはないが仕方がないので一緒にやめますか、それともきっぱり断わる方ですか。
6. 友達からステレオを譲ってもらいました。しかし、はじめに聞いていた性能とは、少し違うようです。あなたなら、黙っていますか、それとも、友達にそのことを言う方ですか。
7. 少しですが、友達にお金を貸してあります。でも、友達はそれを完全に忘れてるようです。あなたは、きちんと請求しますか、少額ならあきらめる方ですか。
8. テストを受けていた時、先生から、席をはずしている間に、カンニングした学生を見

つけたら名前を報告するように頼まれました。すると、友達の1人が教科書を覗いています。先生に名前を報告しますか、黙っている方ですか。

9. クラスに一人仲間はずれになっている人がいます。私は、そんなに嫌な人だと思いませんが、その人と話をするとみんなが嫌な顔をします。そのままにしておきますか、みんなに、仲間に入れるように話してみようと思う方ですか。
10. 友達が、禁煙席でタバコを吸いだしました。一度注意しましたが、「言いじゃないか」と言うだけです。放っておきますか、もう一度注意する方ですか。

向社会的行動の判断：向社会的行動のレベルを判断するために、次の10の場面を想定し、それぞれについて、親切な行為である——親切な行為とはいえない、の5段階の評価を行わせた。

- 1 テストの最中、友達のカンニングを見てしまいました。そんなことはやめろと、そっと、小声でささやきました。注意してやることは、友達に対して親切なことでしょうか。
- 2 友達と2人でよく将棋の勝負をします。いつも私が勝ちますが、たまには内緒で負けてやろうかと思えます。わざと負けてあげることは、友達に対して親切なことでしょうか。
- 3 友達に、他人の悪口ばかりいうので仲間外れになっている人がいます。その人にとっては不愉快なことでしょうが、注意してあげようと思えます。注意してあげるは、友達に対して親切なことでしょうか。
- 4 友達が、得意になってみんなに最近読んだ本の話をしています。でも、内容を理解していないようです。あなたは、間違っているよ、と行ってあげようと思えます。注意してあげる事は、友達に対して親切なことでしょうか。
- 5 友達が、財布を拾って交番にとどけたところ、落とし主が見つかりました。友達は喜んでもらえただけでいい、と言います。でも、権利はあるのだから、謝礼はもらいなさいよ、と言ってあげるつもりです。このように言ってあげることは、友達に対して親切なことでしょうか。
- 6 友達が、ある社会に就職が決まり、有頂点になっています。でも、私はその会社の悪い噂を聞いたことがあります。就職が決定した後ですが、そのことを言ってあげようかと思えます。このようなことを言ってあげることは、友達に対して親切なことでしょうか。
- 7 友達が、どう見ても、趣味がよいとは言えない服装をしてきました。かげで笑っている人もいます。みんながどう言っているか言ってあげようと思えます。このようなことを言ってあげることは、友達に対して親切なことでしょうか。
- 8 私の持っている安いブローチを友達が気に入ったようです。自分の高価なブローチと

換えてほしいといわれました。換えてあげることは、友達に対して親切なことでしょうか。

- 9 友達が数学の問題を解いていました。いくらやっても解けないようです。教えて、とは言われませんでした。答えを教えてあげました。教えてあげることは、友達に対して親切なことでしょうか。
- 10 あまり授業に出てこない友達が、今日も休んでいます。このままでは不合格になるかもしれない、と思い、「代返」してあげました。勝手に代返してあげることは、友達に対して親切なことでしょうか。

対象：女子大学生275名

結果と考察

社会的承認——社会的責任の行動基準の結果は、 $M=24.97$ $SD=4.27$ であった。25以上を社会的責任群、25以下を社会的承認群として以下の分析に用いた。この社会的承認、社会的責任の測定については、項目数が10と少ないこともあり、統計上の問題点を有していると考えられるが、あとで述べるように、愛他行動の価値判断の差異を検討するための有効な基準となりえたと考える。この10項目をクラスター分析にかけた結果は次のようであった。5クラスター分割では、クラスター1：項目番号 1・3・4・6・7（不愉快） クラスター2：項目番号 5・9（おせっかい） クラスター3：項目番号 2（媚び） クラスター4：項目番号 8（不公平） クラスター5：項目番号10（やりすぎ）となった。（ ）内の命名は、それぞれの行動が意図を誤解された場合、どのように受け取られかねないか、に基づいたものである。クラスター1に5つの項目が集まっているが、それらを「不愉快」と名付けたように、この社会的承認——社会的責任の行動基準は、価値が社会的承認の方向に向かえば友達に対する迎合と受け取られる可能性があり、社会的責任の方向に向かえば友達に対する偽善的な態度と受け取られる可能性のあるものである。

中村陽吉（1976）は、他人の困難や苦痛を見過ごしにすることのできない人達は、自己中心的でなくて、他者の気持ちを配慮するタイプの人達であり、それと同時に自分の行動への他者のおもわくも気になり、他の人達から好意を持たれたい（社会的承認の欲求）気持ちも強い人であろうと推測している。こうした観点に立てば、社会的承認の欲求の強い人は、愛他行動をとりやすいといえよう。しかし、同時に社会人としての責任を一義的に考える人においても、他者の行動に対する関心の強さや、社会正義に対する積極性からみて愛他的に行動しうる可能性が高いと考えられる。それ故、両基準とも向社会的行動を動機づける要因として考えることが可能であろう。

愛他行動の価値基準を測定する10項目の、社会的承認群——社会的責任群の比較は

Table 1 に示したとおりである。重みをかけない平均法による分散分析の結果は項目間 ($F=98.642$ $df=9$ $P<.01$) 群間 ($F=6.527$ $df=1$ $P<.05$) 交互作用 ($F=8.256$ $df=9$ $P<.01$) であった。なお、各項目ごとの社会的承認群、社会的責任群の有意差検定の結果は Table に*印で示したとおりである。

Table 1. 社会的承認群——社会的責任群の愛他行動評価

Item	社会的承認群 N=122		社会的責任群 N=153	
	M	SD	M	SD
1	3.69	1.01	3.82	1.06
2	2.75	1.25	2.26	1.36*
3	4.48	.83	4.59	.85
4	3.12	1.16	3.16	1.08
5	2.46	1.37	1.87	1.19*
6	2.11	1.24	2.56	.95*
7	2.69	1.22	3.13	1.30*
8	3.47	1.23	2.95	1.32*
9	2.36	1.25	2.31	1.26
10	3.24	1.26	2.56	1.60*

* $P<.05$

その結果6項目で有意差が検出された。しかし群間の差は一定ではなく、4項目では社会的承認群の数値が高く、2項目では社会的責任群の数値が高い。このうち、社会的承認群が有意に、親切な行動であると評価したのは次の項目である。項目2：将棋の勝負はクラスター分析の項でも述べたように友達に対する媚びと受け取られかねない項目である。項目5：落し物の謝礼は友達の善意を無にする態度と受け取られかねない。項目8：ブローチの交換は友達の希望をかなえてあげたものであるが、自身にとっても有利な条件である。項目10：無断の代返は友達に対する過度とも思える思いやりであるが、同時に社会的なルールは逸脱している。これらの項目はいずれも、友達の意向を第一義的に考えた行動事例であって、これらの項目で、社会的承認群の愛他価値の評価が高いことは仮説を検証するものである。

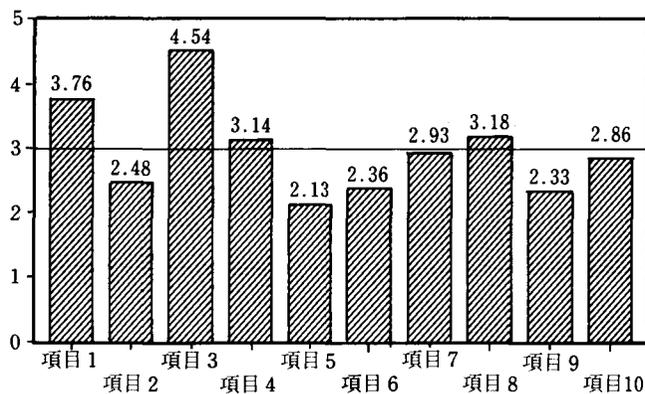
さらに、社会的責任群が有意に、親切な行動であると評価したのは次の項目である。項目6：就職先の噂は忠告の将来の評価は未定であるにしても、現時点では友達に不安を与えるものである。項目7：服装についての注意は告げ口と受け取られかねないものである。この2項目とともに、有意差は認められなかったが項目1、3、4は、クラスター分析で「不愉快」にまとめられた項目であり、いずれも一時的にせよ、友達の自我を傷つけるこ

とになる可能性の高い項目である。したがって、これらのうち2項目で社会的責任群が高い評価を与えているということは、これらの被検者が友達との情緒的な結びつきよりは、自己の行動についての社会的責任に動機づけられていると考えられる。

これらの結果から、個人内の社会的承認——社会的責任の動機づけが、愛他行動の価値判断に影響をあたえていることから、愛他行動に絶対的基準があるのではなく、ひとつは個人の動機の違いによって、愛他行動のとらえ方に個人差の存在するものと思われる。

今、動機づけによる愛他行動の価値判断の相違について述べた。しかし、この6項目について動機づけによる有意差を無視して、項目間の差異のみに注目するとかなりの違いが認められる。Fig. 1は項目間の差異を示したものである。クラスター1に属する項目だけを取りあげても、項目3：悪口の注意と項目6：就職先の噂との間には、平均で2.18もの差があり、また、項目4：本の内容との間にも、1.40の差があり、項目3：悪口の注意の方が親切な行為だと評価されている。これは、行動の必要性の観点から評価をくだしたとも考えられる。この項目3：悪口の注意 項目1：カンニングの注意は愛他行動としての評価が高く、しかも、社会的承認群——、社会的責任群の差もほとんどないことから、この2項目に共通と思われる社会的正義、道徳的判断が、愛他行動価値の判断基準となっていると考えられる。項目2：将棋の勝負 項目5：落し物の謝礼 項目9：数学の答えは、友達に対する媚び、おせっかいで、このような項目は全体に評価が低い。

Fig. 1 愛他行動の項目別評価



以上2つの視点からの分析をすすめてきたが、これらを考えあわせると、確かに愛他行動の価値判断は、個人内の動機の差異によってかわるけれども、同時に社会的な望ましさともいべき道徳基準のような文化に共通な基礎があって、その基礎の上に個人内動機が存在すると考えた方がよいのであろうか。

高尾 正

文 献

- ブラマー L. M. 対馬 忠・対馬ユキ子 (訳) 1978 人間援助の心理学 サイマル出版会
(Brammer, L.M. 1973 *The helping relationship : Process and skills*. Englewood Cliffs, NJ: Prentice-Hall.)
- Eisenberg, N. 1986 *Altruistic emotion, cognition, and behavior*. Hillsdale, NJ: Lawrence Erlbaum Associates.
- Frey, D.L., & Gaertner, S.L. 1986 Helping and the avoidance of inappropriate interracial behavior : A strategy that perpetuates a nonprejudiced self-image. *Journal of Personality and Social Psychology*, 50, 1083-1090.
- 松崎学・浜崎隆司 1990 向社会的行動の動向——ないのプロセスを中心にして——心理学研究 61, 3.
- 中村陽吉 1976 対人関係の心理——攻撃か援助か——大日本図書
- 中村陽吉・高木 修 (編著) 1987 「他者を助ける行動」の心理学 光生館
- マッセン P. ・アイゼンバーグ=バーグ N. 菊池章夫 (訳) 1980 思いやりの発達心理 金子書房
(Mussen, P., & Eisenberg-Berg, N. 1977 *Roots of caring, sharing, and helping : The development of pro-social behavior in children*. San Francisco : Freeman.)